

みずほマーケット・トピック(2017年5月19日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

誠に恐れ入りますが「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週後半に急落する展開。週初 15 日、113 円台前半でオープンしたドル/円は、サウジアラビアとロシアが協調減産を 2018 年 3 月まで延長することで合意との報に原油相場が大幅高となったことや米株の上昇に連れて、一時週高値となる 113.85 円まで上昇した。16 日は動意が乏しい展開が続いていたが、トランプ米大統領のロシアに対する情報漏えい疑惑が報じられる中、弱い米経済指標の結果も相俟ってドル/円は 113 円を下抜けた。17 日もドル売りの流れが続き、トランプ大統領の情報漏えい疑惑を追及する動きなどが嫌気され、米株が大きく下落するとドル/円は 110 円台後半まで急落。18 日には、トランプ陣営が大統領選挙期間中にロシア当局者と接触した可能性が報じられると、ドル/円は一時週安値となる 110.24 円をつけた。その後は米新規失業保険申請件数や米 5 月フィラデルフィア連銀製造業景気指数の良好な結果に 111 円台半ばまで値を戻し、本日のドル/円は 111 円台前半までやや軟化している。
- 今週のユーロ/ドル相場は大きく上昇する展開。週初 15 日、1.09 台前半でオープンしたユーロ/ドルは、一時週安値となる 1.0923 をつけたが、週末に実施された独地方選挙においてメルケル首相率いるキリスト教民主同盟(CDU)が勝利したことを受けて 1.09 台後半まで上昇。16 日も堅調な推移が続き、節目として意識されていた 1.10 を上抜けた。さらに独 5 月 ZEW 景気指数の良好な結果やイタリアの大手銀行に対する救済策を欧州委員会が承認するとの報道を受けて 1.10 台後半まで値を上げた。1.11 手前では売り圧力が強く上値を押さえられたものの、17 日もトランプ大統領の情報漏えい疑惑を背景にドル売り優勢地合いとなる中、ユーロ/ドルは 1.11 台後半まで値を上げた。18 日に一時週高値となる 1.1174 をつけたが、その後は米経済指標の良好な結果などを背景にドルが買い戻される展開となり、ユーロ/ドルは 1.10 台後半まで弱含んだ。本日にかけてはやや値を戻し、1.11 近辺で上値重く推移している。

今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週				
		5/12(Fri)	5/15(Mon)	5/16(Tue)	5/17(Wed)	5/18(Thu)	
ドル/円	東京9:00	113.84	113.27	113.65	112.70	111.07	
	High	113.95	113.85	113.79	113.13	111.74	
	Low	113.20	113.12	112.93	110.79	110.24	
	NY 17:00	113.37	113.80	113.15	110.79	111.49	
ユーロ/ドル	東京9:00	1.0864	1.0928	1.0980	1.1094	1.1154	
	High	1.0935	1.0989	1.1097	1.1162	1.1174	
	Low	1.0855	1.0923	1.0973	1.1080	1.1075	
	NY 17:00	1.0934	1.0975	1.1084	1.1159	1.1102	
ユーロ/円	東京9:00	123.64	123.78	124.79	125.06	123.90	
	High	123.95	124.89	125.81	125.31	124.10	
	Low	123.32	123.70	124.60	123.65	122.57	
	NY 17:00	123.90	124.86	125.35	123.68	123.80	
日経平均株価		19,883.90	19,869.85	19,919.82	19,814.88	19,553.86	
TOPIX		1,580.71	1,580.00	1,584.23	1,575.82	1,555.01	
NYダウ工業株30種平均		20,896.61	20,981.94	20,979.75	20,606.93	20,663.02	
NASDAQ		6,121.23	6,149.67	6,169.87	6,011.24	6,055.13	
日本10年債		0.05%	0.04%	0.05%	0.05%	0.05%	
米国10年債		2.33%	2.34%	2.33%	2.22%	2.23%	
原油価格(WTI)		47.84	48.85	48.66	49.07	49.35	
金(NY)		1,228.13	1,230.69	1,237.06	1,261.22	1,247.14	

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- ・ 米国では、23 日(火)に 4 月新築住宅販売の発表がある。関連統計はまちまちとなっており、住宅ローン申請件数は月次平均でみると 2 か月連続で増加している。他方、NAHB 住宅市場指数は水準としては高水準を維持しているものの 4 月は低下しており、新築住宅販売は減少が見込まれている(市場予想:前月比▲1.0%)。また、翌 24 日(水)には 4 月中古住宅販売の発表が予定されている。先行指標である中古住宅販売留保指数は、3 月は前月比▲0.8%と減少しており、4 月の中古住宅販売も減少すると予測されている(市場予想:前月比▲0.7%)。このほかには、26 日(金)に 1～3 月期 GDP(改定値)の発表などが予定されている。金融政策関連では、24 日(水)に FOMC 議事要旨(5 月 3 日分)が公表されるほか、22 日(月)にハーカー・フィラデルフィア連銀総裁とカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁、23 日(火)にはブレynaード理事とエバンズ・シカゴ連銀総裁の講演などが予定されている。
- ・ 本邦では、22 日(月)に 4 月貿易統計の発表がある。4 月上中旬(1～20 日)分の貿易統計では、輸出は前年比+6.5%(3 月上中旬:同+5.4%)、輸入は同+15.4%(3 月上中旬:同+10.8%)となり、貿易収支は 1066 億円の赤字となった。報道によれば、輸出は自動車部品や半導体などの電子部品、原動機が増加し、輸入は原油や石炭、通信機が増えたようだ。4 月の営業日数は上中旬、下旬ともに前年と同じであり、市場では 4 月全体の輸出は同+6.6%、輸入は同+14.8%と予想されている。また、貿易収支は 4445 億円の黒字、季節調整値では 3167 億円の黒字が見込まれている。このほか、26 日(金)には 4 月全国消費者物価指数(CPI)、5 月東京都区部 CPI の発表が予定されている。4 月全国コア CPI(生鮮食品を除く総合)は前年比+0.3%と 3 月の同+0.2%からプラス幅が拡大すると見込まれている。既に公表されている 4 月東京都区部コア CPI は同▲0.1%と 3 月の同▲0.4%からマイナス幅が縮小しており、全国も概ねこれに沿った動きとなりそうだ。5 月東京都区部コア CPI は同▲0.1%と 4 月と同じ伸びとなり、15 か月連続のマイナスと予測されている。

	本 邦	海 外
5 月 19 日(金)	_____	・ユーロ圏 3 月経常収支
22 日(月)	・4 月貿易収支 ・3 月景気動向指数(確報)	
23 日(火)	・3 月全産業活動指数	・米 4 月新築住宅販売件数
24 日(水)	・5 月製造業 PMI(速報値)	・米 4 月中古住宅販売件数 ・米 FOMC 議事要旨(5 月 3 日会合分) ・ユーロ圏 5 月製造業/サービス業/総合 PMI(速報値)
25 日(木)	_____	・米 4 月卸売在庫(速報) ・石油輸出国機構(OPEC)総会
26 日(金)	・5 月東京都区部 4 月全国消費者物価 ・4 月企業向けサービス価格指数	・米 1～3 月期 GDP(改定値) ・米 4 月耐久財受注(速報) ・米 5 月シシガン大学消費者マインド(確報)

【当面の主要行事日程(2017 年 5 月～)】

ユーロ圏財務相会合/EU 経済・財務相理事会(ブリュッセル、5 月 22～23 日)
 G7 首脳会議(5 月 26～27 日、タオルミーナ(イタリア))
 ECB 理事会(6 月 8 日、7 月 20 日、9 月 7 日)
 米 FOMC(6 月 13～14 日、7 月 25～26 日、9 月 19～20 日)
 日銀金融政策決定会合(6 月 15～16 日、7 月 19～20 日、9 月 20～21 日)

国際為替部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌 大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

経済指標カレンダー(2017年5月)

月		火		水		木		金		週末	
1		2		3		4		5		7	
日本 自動車販売台数(4月) 米国 個人所得・消費(3月) 米国 PCEコアデフレーター(3月) 米国 ISM製造業景気指数(4月) 米国 建設支出(3月)		日本 金融政策決定会合議事要旨(3月15～16日開催分) 日本 マネタリベース(4月) 米国 FOMC(～3日) ユーロ圏 失業率(3月)		日本 憲法記念日 米国 ADP雇用統計(4月) 米国 ISM非製造業景気指数(4月) ユーロ圏 GDP(速報値、1～3月期)		日本 みどりの日 米国 労働生産性(速報、1～3月期) 米国 貿易収支(3月) 米国 製造業新規受注(3月) 米国 耐久財受注(確報、3月)		日本 こどもの日 米国 雇用統計(4月) 米国 消費者信用残高(3月)		フランス大統領選挙(決戦投票)	
8		9		10		11		12			
米国 労働市場情勢指数(4月) ドイツ 製造業受注(3月)		日本 毎月勤労統計(3月) 米国 卸売在庫(確報、3月) 米国 卸売売上高(3月) ドイツ 鉱工業生産(3月) ドイツ 貿易収支(3月)		日本 日銀金融政策決定会合による主な意見(4月26～27日開催分) 日本 景気動向指数(速報、3月) 米国 財政収支(4月)		日本 企業倒産件数(4月) 日本 国際収支(3月) 日本 貸出・預金動向(4月) 日本 景気ウォッチャー調査(4月) 米国 生産者物価(4月) パナマ(イタリア) G7財務相・中央銀行総裁会議(～13日)		日本 マネーストック(4月) 米国 消費者物価(4月) 米国 小売売上高(4月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、5月) 米国 企業在庫(3月) ユーロ圏 鉱工業生産(3月) ドイツ GDP(1～3月期、速報)			
15		16		17		18		19			
日本 国内企業物価(4月) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(5月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、3月)		日本 第三次産業活動指数(3月) 米国 住宅着工(4月) 米国 鉱工業生産(4月) ユーロ圏 貿易収支(3月) ドイツ ZEW景況指数(5月)		日本 機械受注(3月) 日本 鉱工業生産(確報)、3月 ユーロ圏 消費者物価(確報、4月)		日本 GDP(速報、1～3月期) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(5月) 米国 景気先行指数(4月)		ユーロ圏 経常収支(3月)			
22		23		24		25		26			
日本 貿易収支(4月) 日本 景気動向指数(確報、3月) ユーロ圏 財務相会合(ブリュッセル)		米国 新築住宅販売(4月) ユーロ圏 EU経済・財務相理事会(ブリュッセル) ドイツ GDP(確報、1～3月期) ドイツ IFO企業景況指数(5月)		米国 中古住宅販売(4月) 米国 FOMC議事要旨(5月2～3日開催分) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(5月)		米国 卸売在庫(速報、4月)		日本 全国消費者物価(4月) 日本 東京都都区消費者物価(5月) 日本 企業向けサービス価格(4月) 米国 GDP(2次速報、1～3月期) 米国 耐久財受注(速報、4月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、5月) タオルミーナ(イタリア) G7首脳会議(～27日)			
29		30		31							
		日本 労働力調査(4月) 日本 家計調査(4月) 日本 商業販売統計(4月) 米国 個人消費・所得(4月) 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格(3月) 米国 消費者信頼感指数(5月)		日本 鉱工業生産(速報、4月) 日本 新設住宅着工(4月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(5月) 米国 ペーリュック ユーロ圏 失業率(4月) ユーロ圏 消費者物価(速報、5月)							

[注]*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

経済指標カレンダー (2017年6月)

月	火	水	木	金	週末
			1 日本 法人企業統計(1～3月期) 日本 自動車販売台数(5月) 米国 ADP雇用統計(5月) 米国 労働生産性(確報、1～3月期) 米国 ISM製造業景気指数(5月) 米国 建設支出(4月)	2 日本 マネタリーベース(5月) 米国 雇用統計(5月) 米国 貿易収支(4月)	
5 米国 製造業新規受注(4月) 米国 耐久財受注(確報、4月)	6 日本 毎月勤労統計(4月) 米国 労働市場情勢指数(5月)	7 日本 景気動向指数(速報、4月) 米国 消費者信用残高(4月) ユーロ圏 GDP(確報、1～3月期) ドイツ 製造業受注(4月)	8 日本 GDP(1～3月期、確報) 日本 国際収支(4月) 日本 貸出・預金動向(5月) 日本 景気ウォッチャー調査(5月) 日本 *企業倒産件数(5月) ユーロ圏 ECB理事会(タリン) ドイツ 鉱工業生産(4月)	9 日本 マネーストック(5月) 日本 第三次産業活動指数(4月) 米国 卸売在庫(確報、4月) 米国 卸売売上高(4月) ドイツ 貿易収支(4月)	
12 日本 国内企業物価(5月) 日本 機械受注(4月) 米国 財政収支(5月)	13 日本 法人企業景気予測調査(4～6月期) 米国 FOMC(～14日) 米国 生産者物価(5月) ドイツ ZEW景況指数(6月)	14 日本 鉱工業生産(確報、4月) 米国 消費者物価(5月) 米国 小売売上高(5月) 米国 企業在庫(4月) ユーロ圏 鉱工業生産(4月)	15 日本 日銀金融政策決定会合(～16日) 米国 ニューヨーク連銀製造業景気指数(6月) 米国 フィラデルフィア連銀製造業景気指数(6月) 米国 鉱工業生産(5月) 米国 TICレポート(対内対外証券投資、4月) ユーロ圏 財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 貿易収支(4月)	16 米国 住宅着工(5月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(速報、6月) ユーロ圏 EU経済・財務相会合(ルクセンブルク) ユーロ圏 消費者物価(確報、5月)	
19 日本 貿易収支(5月)	20 米国 経常収支(1～3月期) ユーロ圏 経常収支(4月)	21 日本 金融政策決定会合議事要旨(4月26～27日開催分) 米国 中古住宅販売(5月)	22 米国 景気先行指数(5月)	23 米国 新築住宅販売(5月) ユーロ圏 製造業PMI、サービス業PMI(6月)	
26 日本 日銀金融政策決定会合による主な意見(6月15～16日開催分) 日本 企業向けサービス価格(5月) 日本 景気動向指数(確報、4月) 米国 耐久財受注(速報、5月) ドイツ IFO企業景況指数(6月)	27 米国 S&P/コアロジックケース・シラー住宅価格(4月) 米国 消費者信頼感指数(6月)	28 米国 卸売在庫(速報、5月)	29 日本 商業販売統計(5月) 米国 GDP(3次速報、1～3月期)	30 日本 労働力調査(5月) 日本 家計調査(5月) 日本 全国消費者物価(5月) 日本 東京都都区消費者物価(6月) 日本 鉱工業生産(速報、5月) 日本 新設住宅着工(5月) 米国 個人消費・所得(5月) 米国 PCEコアデフレーター(5月) 米国 シカゴ購買部協会景気指数(6月) 米国 ミシガン大学消費者マインド(確報、6月) ユーロ圏 消費者物価(速報、6月)	

(注)*を付したものは公表予定が未定であることを示す。
(資料)ブルームバーグ等より、みずほ銀行作成

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2017年5月17日	ドルインデックスの急落を受けて
2017年5月16日	ユーロ相場の現状について～投機買い持ちでも上がらず～
2017年5月15日	イタリアG7を終えて～「量」か「価格」か「説得」か～
2017年5月12日	週末版(欧州委員会春季経済予測を受けて～今後心配な「スラックの格差」～)
2017年5月11日	円相場の基礎的需給環境～様変わりする景色～
2017年5月10日	米インフレ期待低迷が映す米経済への過信
2017年5月9日	米商務省声明が予感させる「理不尽な円高」
2017年5月8日	フランス大統領選挙を受けて～おさらいすべきフランスの現状～
2017年4月28日	週末版(ECB理事会を終えて～「次の一手」は引き締めが濃厚～)
2017年4月27日	ECB理事会プレビュー②～フォワードガイダンス撤廃報道について～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年3月分)
2017年4月25日	メインシナリオのリスク点検～憧る「第二次ブラザ合意」疑惑～
2017年4月24日	フランス大統領選挙第1回投票～終わらない政治リスク～
2017年4月21日	週末版(ECB理事会プレビュー～争点はフォワードガイダンスの取り扱い～)
2017年4月20日	米金利低下と円高相場～投資家は「外」から「内」へ～
2017年4月19日	英総選挙の前倒し実施～「絶対に負けられない戦い」へ～
2017年4月17日	米為替政策報告書の読み方
2017年4月14日	週末版(依然として懸念されるユーロ圏の域内格差～顕著になる「地力の差」～)
2017年4月13日	改めて考えるポリシーミックスの在り方
2017年4月12日	試される「リスク回避の円買い」の妥当性
2017年4月11日	円相場の基礎的需給環境～ベーススワップと対外証券投資～
2017年4月7日	週末版(ECB理事会議事要旨～鍵を握るAPPの延長可否～)
2017年4月6日	FOMC議事要旨を受けて～「B/S縮小≠ドル高」とは限らず～
2017年4月5日	真つ当な米利上げ反対論～ブレイナードからカシュカリへ～
2017年4月4日	外貨準備構成通貨の現状(2016年12月末時点)
2017年4月3日	2つの大統領令を受けて～内政の苛立ちを外交で発散へ～
2017年3月31日	週末版
2017年3月30日	ユーロ圏の物価に関する現状と展望～ECBへの影響～
2017年3月29日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年2月分)
2017年3月28日	メインシナリオのリスク点検～要警戒の4月中旬～
2017年3月24日	週末版(英EU離脱の正式通告について～当面の展望や為替見通し～)
2017年3月22日	ドル/円相場の水準感について～112円割れを受けて～
2017年3月21日	バーデンバーデンG20を受けて～前哨戦は米国に軍配～
2017年3月17日	週末版(日銀金融政策決定会合を終えて～再確認したい現行枠組みの脆弱性～)
2017年3月16日	FOMCを受けて～さほどハト派にあらず？～
2017年3月15日	米インフレ期待低迷から何を読むか～FOMCを前に～
2017年3月14日	円相場の基礎的需給環境～窮屈になる対外証券投資の環境～
2017年3月13日	ECB理事会を受けて～対米配慮と対独配慮に苦悶～
2017年3月10日	週末版
2017年3月3日	週末版
2017年3月2日	本邦輸出企業の採算レートやそこから推測される展開
2017年3月1日	ECB理事会プレビュー～進むも地獄、戻るも地獄～
2017年2月27日	ECB、公的部門購入プログラム(PSPP)の現状と展望
2017年2月24日	週末版(メインシナリオのリスク点検～問題の所在は全く変わらず～)
2017年2月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2017年1月分)
2017年2月21日	ユーロ圏投資ファンド統計～ユーロ安の底流にあるもの～
2017年2月20日	ECB理事会議事要旨～窮屈になる追加緩和の環境～
2017年2月17日	週末版(米12月対内・対外証券投資(TIC)レポート)～対米資本フローに表れる不自信～)
2017年2月15日	イエレンFRB議長議会証言を受けて～正常化を止めるのはドル高か～
2017年2月14日	ドル高を信用できない金融市場の現状～需給への影響も～
2017年2月13日	日米首脳会談を終えて～円高警戒は解けず～
2017年2月10日	週末版(再燃する対ドイツ格差問題～新しい欧州経済・金融のテーマ～)
2017年2月9日	円相場の基礎的需給環境～2016年国際収支を受けて～
2017年2月3日	週末版(トランプ大統領が日本を付け狙う理由～「返り血」が少ない喧嘩相手？～)
2017年2月1日	日銀金融政策決定会合～トランプとFTPLの狭間で～
2017年1月30日	メインシナリオのリスク点検～不幸を生むドル高は続かず～
2017年1月27日	週末版
2017年1月26日	日銀による国債買い入れオペ見送り～為替からの読み方～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年12月分)
2017年1月25日	貿易収支の調整経路～「理不尽な円高」は不可避か～
2017年1月23日	ECB理事会を終えて～窮屈になる緩和環境～
2017年1月20日	週末版
2017年1月19日	改善が顕著なユーロ圏の与信・物価状況～ECBは慢心せず～
2017年1月18日	メイ英首相演説を受けて～反EUの「悪い見本」になるのか？～
2017年1月17日	目の敵にされる4つの通貨～対米黒字を稼ぐ「悪」の枢軸？～
2017年1月16日	ECB理事会プレビュー～「可能な限り、現状維持」が本音～
2017年1月13日	週末版(円相場における実需と投機の現状について～対外証券投資にまつわる懸念事項も～)
2017年1月12日	トランプ次期大統領会見について～トランプはトランプのまま～
2017年1月11日	「国際金融のトリレンマ」を通じた日中比較
2017年1月6日	週末版(外貨準備構成通貨の現状(2016年9月末時点)～ユーロの独り負けだった過去3年～)
2017年1月5日	FOMC議事要旨(12月13～14日開催分)を受けて
2017年1月4日	2017年のドル相場について～空中戦はどこまで続くか～
2016年12月27日	2017年、為替相場の勘所～実効ベースで複眼的に～
2016年12月26日	2017年のブラックスワンはどこに現れるのか？
2016年12月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年11月分)
	週末版
2016年12月19日	メインシナリオのリスク点検～「守りの姿勢」継続を～
2016年12月16日	週末版(メキシコペソはドル高相場を阻むか～避けて通れない政治的通貨～)
2016年12月15日	FOMC(12月13～14日開催分)を終えて
2016年12月13日	米金利高・ドル高の影響～「熟する前に冷やす」怖さ～
2016年12月12日	円相場における実需と投機の現状について
2016年12月9日	週末版(ECB理事会を終えて～2016年は「QEの終わり」を告げる年に～)
2016年12月7日	日米金利差から見たドル/円相場の水準感などについて
2016年12月6日	イタリア国民投票プレビューとECB理事会プレビュー
2016年12月5日	トランプノミクスのリスクとなる米国の完全雇用状態
2016年12月2日	週末版(トランプノミクスを左右する米製造業マインド～通貨政策のバロメーターに～)
2016年12月1日	イタリア国民投票プレビュー
2016年11月28日	ユーロ相場の展望～来年底打ちも政治リスクは重荷～
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2016年10月分)
2016年11月25日	週末版(メインシナリオに対するリスクの整理～円安リスク。「現実味」は帯びたが「現実化」はまだ先～)
2016年11月24日	日米金融政策比較と為替への含意～格差は拡大の一途だが～